

ALSO 会員の皆様

コロナ禍の対応に気の抜けない日々の中で、安全なお産を守るための活動ご苦労様です。

ALSO-Japan は、集合型のシミュレーションコースの開催が難しい状況が続く中、ALSO の教育パラダイムである継続的医学教育（CME; continuous medical education）の機会を提供し続けるために、web セミナーの利用を推進してきました。

昨年度9月から開始された e-ラーニングには、のべ6,000回を超えるアクセス数がありました。また、2021年1月9日より5回にわたって web 開催されてきた今年のウィンターミーティングにはのべ約250名の ALSO 会員が参加し、マタニティケアの安全性についての学習を深めることができました。特に、今回のウィンターミーティングでは、全国の様々な施設における医療安全に向けた実際の試みを多く共有することができ、改めてその重要性を認識することができました。皆様の積極的な参加に深く感謝申し上げます。

昨年末、3年半ぶりの新しいシラバスの改訂英語版 ALSO マニュアル第9版が ALSO/AAFP より発表され、オールジャパンによる翻訳活動が開始しました。2021年度上半期中には、ALSO マニュアル第9版 日本語版を ALSO 会員の皆様に提供できる予定となっております。コロナ禍の web コースで十分な時間をかけて皆さんと学習の機会を持てたことによる成果を、新しいシラバスと共にいつもの ALSO プロバイダーコースで試してみることが今からとても楽しみです。

今後もコロナ禍の状況を慎重に見極めながら、ALSO の教育パラダイム維持に努めて参りますので、今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

今年は例年に比べて早い桜の便りが届いています。お産が安全に守られ、関わる全ての方々の満開の笑顔が咲きますよういつも祈願しております。

NPO 法人 周生期医療支援機構（ALSO-Japan）

代表理事 新井 隆成 拝